

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------|
| 事業名 | 羊たちと作る山間部の遊休農地の賑わい創出プロジェクト |
| 事業主体 (連絡先) | 椰野夢クラブ 木曾郡南木曾町読書戸場、椰野地区 |
| 事業区分 | (8)その他地域の元気を生み出す地域づくり |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 457,325円 (うち支援金: 311,000円) |

事業内容

当該地区では人口減少により、遊休農地の草刈り等の管理も困難となっている。

そこで、遊休農地に当該会員が飼育している羊を放ち雑草等を食べてもらうことにより、人力による草刈りの手間なく管理する。また、その様子を近隣住民にも見ていただき、羊による遊休農地の草刈りを知っていただくことを目的とする。

・9月～11月 当該遊休農地に固定式柵を張り、柵内に当クラブ会員所有の羊を放ち、雑草等を食べることで草を刈り、景観保全につなげる。

・10月9日 当該箇所にて近隣住民を対象に「羊とふれあう会」を開催し、羊による草刈りや柵の貼り方について周知を行い、活動に共感をもっていただく。



【設置した柵と羊】

【目標・ねらい】

- ①羊による遊休農地の草刈り
- ②近隣住民や報道会社へ周知し取組をアピール

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①支援金を活用して資材を購入することで、遊休農地を人力による草刈りの手間なく管理することができた。

・羊による遊休農地の草刈り面積
R20㎡ → R3 3,000㎡

②周辺住民へもアピールして取組みを周知できた。報道各社へも連絡し、記事として取り上げられた。

・「羊とふれあう会」 他地区からの来場者2名
実施後アンケート「効果的と感じる」 回答2名

※自己評価【C】

【理由】

周知については回覧で隣接する地区のみへ行ったため、アンケートや来場者数が目標に届かなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

羊による遊休農地の草刈り範囲を拡大していくとともに、本取組を広めるため、希望する方にお試し期間として羊の貸し出しを行い、効果を実感していただく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある